Chapter 18: **新しいゲーム、インディのきらめき**

寮のラウンジでは、サンダースが一人ソファに座りながら、スイッチっぽい端末をむなしくカチカチと叩いていた。

「サーバー落ちてる…？うそだろ！？あとちょっとでシャワーズの水着スキン（0.03％）引けたのにぃ！」

その背後から、ブースターがアブソルを連れて入ってくる。アブソルは口にUSBメモリをくわえていた。

「また課金ゲーに泣かされてんのかよ？」アブソルが鼻で笑いながら言った。

ブースターが首をかしげる。「まあ、そっとしといてあげようよ。でもさ、それ何？」

アブソルはUSBをぽとんとブースターの前足に落とす。

「これが……救いだ。」

**♪モンタージュ開始♪**

* ブースターがポケパッドで新しいゲームを起動
* タイトル：『ミスティック・ヴェール・クロニクルズ ～ガラルの魂～』
* 開発：ガラルギャロップ（コード担当）＆アマージョ（アート・資金担当）
* ジャンル：協力型タクティカルアドベンチャー
* 価格：無料、ガチャなし、課金要素ゼロ、寄付制

**ゲームの中身はというと：**

* ドット絵風の手描きスプライト＋シンプルな3Dモデル
* 神話風アレンジの創作ガラル地方
* ポケモンたちの実際の苦悩・伝承・友情に基づくシナリオ
* スキルベースのPvP（財布の厚みは関係なし）

ブースターの目がきらりと光る。

「これ……僕の時間と脳細胞をちゃんと大事にしてくれるゲームじゃん！」

そこへシャワーズがふらっと入ってきて、ブースターの画面をのぞきこむ。

「えっ、なにこれ……ガチャなし？クレカ限定スキンもなし？」

アブソルがうなずく。「スキルで開放できる要素と、設定掘り下げのコラボイベントだけだ。開発者はフィードバックにも応えてくれる。パブリックのDiscordもある。NFT？あるわけねぇ。」

サンダースが部屋の隅で項垂れていた。

「水着バナーに800ドル溶かしたオレって…」

ブースターがやさしく微笑む。

「今度は……“買う”んじゃなくて、自分で“育てる”番だよ。」

こうして、三匹は新たなパーティを結成した。ゲーム内のユーザーネームは：

* fireEevee（ブースター）
* WaterMood（シャワーズ）
* NightEdge（アブソル）

ガチャも、強欲も、CEOの亡霊も存在しない世界――ミスティック・ヴェールの地へと、彼らは旅立った。

その頃、遥か遠くの路地裏では……

ゴミ箱の中で、ゲンガーが盛大なくしゃみをした。

「ハ…ハックショォォイッ！！」